

地域でつくる個別避難計画作成 取り組みの紹介

滝沢市内において、
地域ぐるみのささえ、
助け合いのために取り組んで
いる方々があります。

元村西自治会 ゆいづくりの会

元村西自治会では、「他人事ではなく、みんなで声を掛け合って、みんなで訓練する地域」にしていくため、日頃から災害に備えるための活動をしています。自治会で作成する福祉マップや避難行動要支援台帳を活用し支援の必要性の高い人の洗い出しから取り組みを開

始。自治会から地域住民へ計画作成についてチラシを配布し周知。会の主導のもと対象者と支援者への説明を経て複数名が計画書を作成。計画書は自主防災訓練で活用。取り組み継続のため、毎年、訓練前には地域内で話し合いの場を持つこととしています。



大釜上自治会（みどり団地）

大釜上自治会では、地区担当民生委員の働きかけにより団地内自主防災訓練を開催。訓練では避難行動要支援者に関する制度を学ぶほか、地域内に在住の要支援者児童とその親が参加し避難時に必要とする持ち物を公開しながら、障がいを持つ人の避難の難しさにつ

いて当事者の声で直接地域住民へお話された。訓練後には地域住民が支援協力に手を挙げるなど、地域の支え合いの意識の向上につながった。医療的ケアを必要とする方のため、支援者のほか福祉専門職にも協力を得て個別避難計画を作成することになりました。



元村北自治会

元村北自治会では、自治会長の主導のもと地域における避難行動要支援者への

支援について考える地域説明会を開催。自治会の福祉マップを整理することから取り組んでいます。

そのほかにも

紹介以外にも取り組みを開始・検討している自治会やゆいづくりの会などもあります。

地域で既に取り組む支援活動に個別避難計画作成を取込む方法も有効な進め方です。

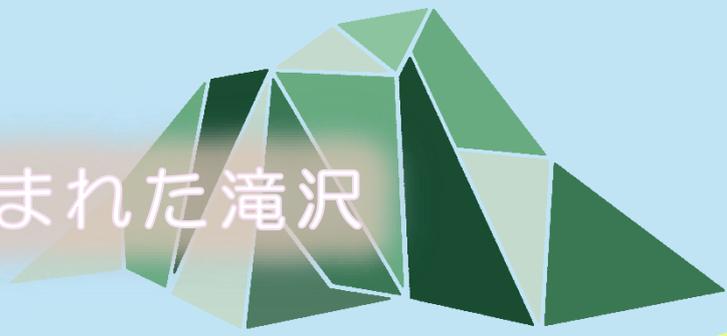
本人・地域主体の個別避難計画作成のほか、
医療的ケアを必要とする方に対しては、本人やその家族と共に
市や福祉専門職が主体となった計画書の作成も進めています。

このリーフレットの問い合わせ先 担当：滝沢市地域福祉課



滝沢市





安全

安心

一人ひとりが**災害**にそなえ
地域でささえ・助け合う
関係づくりを
かんがえてみませんか



共助

防災対策の三要素

自助

公助

災害に備えるために

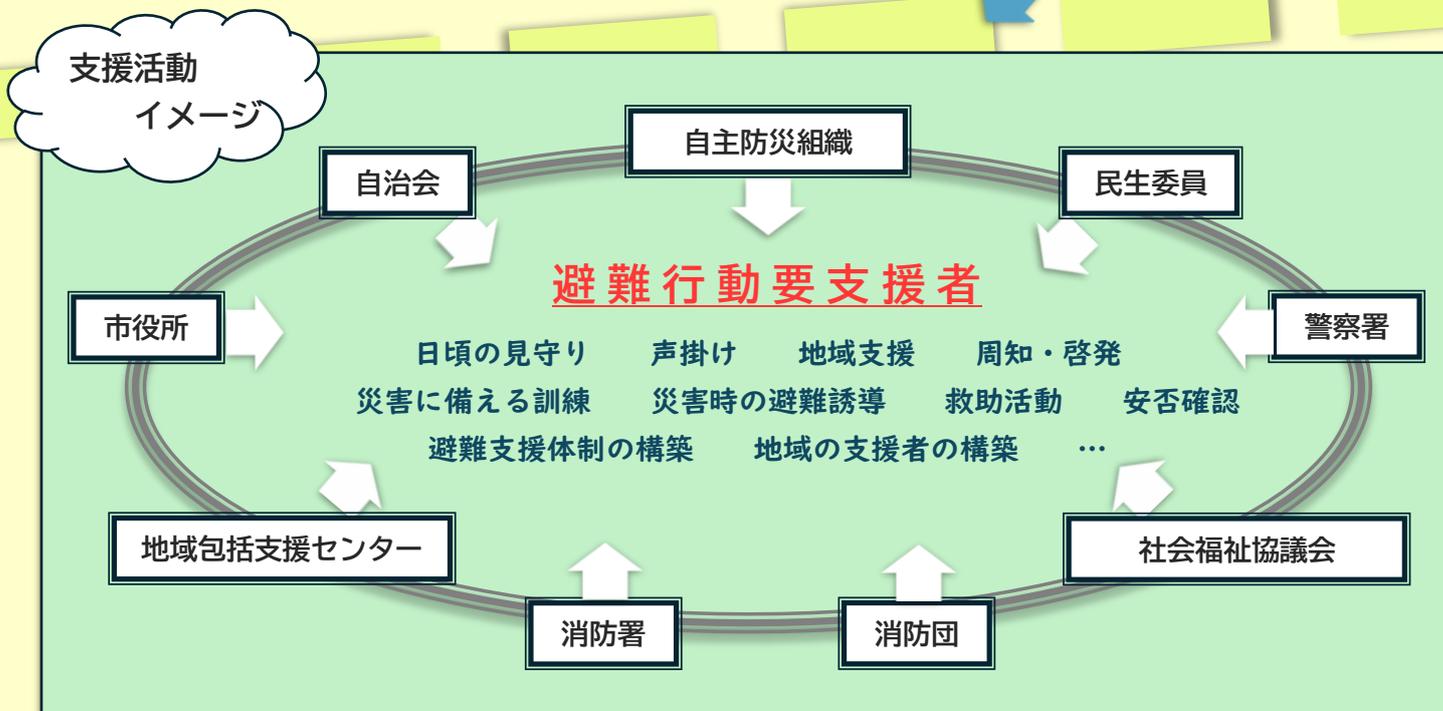
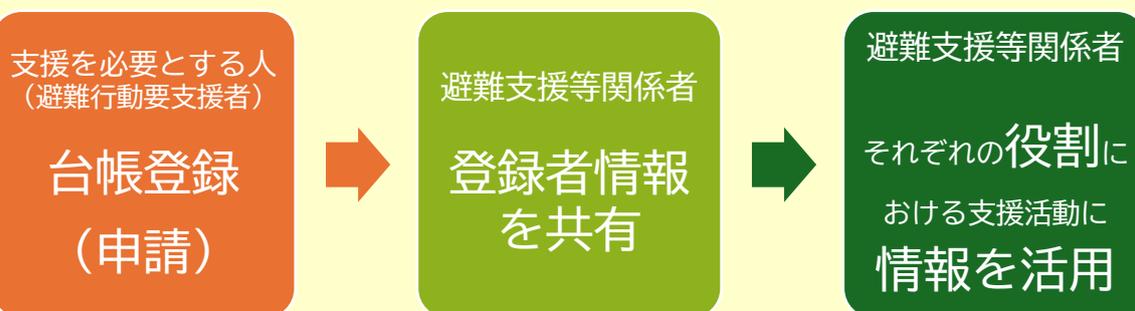
自助

災害がおきた時に支援が必要であることを知ってもらおう

共助

地域の中での見守り・支援体制を整えよう

1 避難行動要支援者台帳に登録しましょう



Check Point

- 見守りや支援協力をお願いできる **ご近所の支援者**がいると、より強い災害への備えとなる。
- 台帳登録によって災害時に **必ず救助しに来てもらえるものではなく**、支援の必要性を関係者に伝え、関係者が台帳情報を活用し支援体制をつくるのが目的。

実効性のある避難（支援）につなげるために

自助

じぶんの避難場所、避難時に必要なものを確認しよう

共助

支援を必要とする人と一緒に避難支援の方法をかんがえよう

2

ご近所の支援者といっしょに
個別避難計画をつくりましょう



だれと？

どこへ？

どのように？

必要なものは？

気をつけることは？



個別避難計画をつくることで

避難場所
避難経路
を確認

きけん箇所
を把握

災害時に
とるべき行動
をイメージ

避難訓練
助け合い活動
に活用

ご近所との
コミュニティ
が生まれる

Check Point

- 市役所に提出された計画書は、**本人、避難支援者、自治会、その他必要な関係者**と共有し、日頃からの見守り活動や避難支援の取り組みのために活用。
- 計画書の作成・更新・活用により**本人と関係者と地域が関わり**を持ちコミュニケーションを取ることが、災害への備えになるとともに、日常の支援につながる。